

除菌作業 車輛編



使用液剤：パナセア 50 p p m – 200ppm
使用機器：パナセアドライフォガー

検査方法：ATPふきあげ検査測定

ATP測定法（ATPそくていほう）とは、すべての生物の細胞内に存在するATP（アデノシン三リン酸）を酵素などと組み合わせて発光させ、その発光量（Relative Light Unit；RLU）を測定する方法のことである。

細胞内の存在するATPは、酵素であるルシフェラーゼなどと反応させることにより発光する。この発光量はATP量が多いほど発光量（Relative Light Unit；RLU）が増す。この方法を利用して、外食産業や医療機関などでは器具の汚染調査、清浄度調査などに利用されている。これは、細菌や残渣などの汚染物質が残っているとATPが存在し、発光することによりモニタリング法として適切な衛生管理が行うことができるとされている。なお、この検査方法は、厚生労働省監修の「食品衛生検査指針微生物編2004」にも掲載されている。

1 車内をATPふきあげ検査による数値化



1 車内をATPふきあげ検査による数値化②



2 車内除菌作業方法

手順①

- ドアの内側から噴霧開始 (社内全体 約30秒)
- コンソールやパネルボタン等にも噴霧。機械類には噴霧し続けな
いように注意。噴霧後約30秒放置
- シートやハンドルにも噴霧

手順②

- ウェス等を使いふきあげ
- 濡れている所やハンドルなど良く使うところは念入りに
- 噴霧がいきわたらない所はスプレータイプの液剤も使いふきあげ

ドライ
フォガーを
使い噴霧



車内に均一に
噴霧します



天井や
ヘッドレスト
にも噴霧



機械類は必ず
拭き上げ



手が触れる
所は特に
念入りに



ハンドルの
裏側などは
拭き上げ



3 除菌作業検証結果

- ドライフォガーを使い拭き上げをすることで確実に菌の減少が確認された。
- 使用液剤のエビデンス（別紙参照）のとおり臭いも無くなり車内が清潔に保たれた。
- 作業時間も約**3分間**と極めて短時間で**除菌と消臭**作業ができる事が検証されました。



1579 → 16



603 → 104



657 → 35



685 → 72

参考判定基準

全般

ATP 表面清浄度レベル (RLU)

Level	SystemSURE Plus & Ultraspap	0-10
I	極めて清浄	0-10
II	とても清浄	11-30
III	普通	31-80
IV	やや汚い	81-200
V	汚い	201-500
VI	とても汚い	501-1000
VII	極めて汚い	1001-

食品・飲食

検査基準例 SystemSURE Plus & Ultraspap

検査対象	合格	不合格
ステンレス表面	<10	>20
樹脂製表面	<10	>30
ナイフ・包丁	<10	>20
まな板	<20	>40
フードコンテナ・タッパー容器	<10	>20
食器トレイなど	<10	>30
シンク（流し）	<10	>30
手洗い後の手指	<60	≥60

医療現場

判定基準例 SystemSURE Plus & Ultraspap

検査対象	合格	不合格
コンタクトポイント (一般区域)	<100	>200
(清潔区域・医療区域)	<50	>100
蛇口	<25	>50
洗面台	<25	>50
医療用の器具・鋼製小物	<10	>20
ウォッシュセーティスインフェクタ	<5	>10
内視鏡	<5	>10
調理器具・配膳食器等	<10	>30

4. 注意事項

- 使用後に白く粉のようなものが残る場合は水拭きまたは空拭きでふき取ってください。
- 消臭に関しては、素材そのものの匂いは消えません。匂いの発する物質その物を取り除いてください。
- 他製品との混合は一切行わないでください。
- 目に入った場合は水で洗い流してください。
- 口に入った場合は水を飲み希釈してください。
- 各種エビデンスは下記QRコードからご参照ください。

パナセアのエビデンス



パナセアは皆様に安心してお使いいただくために、様々な効果試験を行っております。
また、パナセアは通常 200ppm で製造しておりますが、皆様に安心してお使いいただくために、1,000ppm という高濃度での安全性の試験を行っております。除菌試験に関しましては、その半分の 100ppm でテストしています。

安全性のエビデンス



眼刺激性試験



気管内投与による
急性毒性試験



急性吸入毒性試験



皮膚一次刺激性試験



急性経口毒性試験

効果のエビデンス



ウイルス不活性化試験



12種類の除菌効果試験



スミ花粉 / ダニアレルゲ
ン低減効果試験